

【ユニット】 行動科学と医療倫理

【ユニットディレクター】

UD：菅 理江（教養教育）

UD 補佐：米岡 裕美（教養教育） 種田 佳紀（教養教育）

【一般的な目標】

医療における倫理の重要性を学び、医療倫理の基本的な考え方を学ぶ。

医療における安全性の確保について学ぶ。

健康行動理論の基礎を学ぶ。

【具体的な目標】

1. 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる ★PR-04-01-01
2. ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。
3. リスボン宣言等示された患者の基本的権利を説明できる。
4. 患者の自己決定権の意義を説明できる。★PR-04-01-02
5. インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。
6. 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。
7. 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。★CM-03-01-01
8. 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識できる。★CM-03-02-01
9. コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。
10. 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。★GE-01-05-02
11. 医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。★CS-05-06-04
12. 医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。★CS-05-06-04
13. 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。★CS-05-06-02

【学習方法】

本ユニットでは、1-2年次に学んできたことを元に、臨床場面の具体的な事例について行動科学・医療倫理の問題を学ぶ。用語の定義を覚えるだけでなく、考え方・その問題が顕在化した背景などを理解し、自分の経験にあてはめて具体的な問題として捉えられるようになることを目標としている。

1. 多くの授業で、授業前に行う授業前課題もしくは、事前に読んでおくべき資料が指示される。これらの準備を前提に授業が行われるため、必ず実施し、提出物がある場合にはかならず期限内に提出すること。
2. 1-2年次に学んだ基本的な概念の理解が十分でないと理解できない部分が多い。曖昧な部分は教科書等を確認し、不明な点は教員に質問すること。
3. 授業後に授業内容の理解を深めるため、授業後課題を課す授業もある。授業資料、授業中に自分が書き留めたノートを中心に課題に取り組むこと。必ず実施し、提出物はかならず期限内に提出すること。

提出課題等へのフィードバックについて：上記の通り、本ユニットでは授業前・授業内・授業後に課題が課される授業がある。授業前課題については主に授業内で解説・講評が行われる。授業内・授業後の

課題については、授業内で講評を行うか授業後に WebClass に掲載する。定期試験後の講評・解説は、試験後の補習で行われるか、WebClass に掲載される。

【評価方法】

成績：定期試験を実施する。定期試験の形式は基本的に論述式である。ユニットの成績は定期試験（70％）および提出課題（30％）で評価する。再試験は実施する。なお、1、2年生で学習した心理学上の概念が援用されて試験に出題されることがある。

出席：出席票あるいは授業内課題のワークシートの提出をもって出席とする。なお、出席数の不足が病気その他のやむを得ない理由によると卒前医学教育委員会が認めた場合を除き、出席数が規定時限数の75％に達しない場合は、ユニットを不合格とする。

【教科書】

- ◆ 「心理学概論第2版」岡市廣成，鈴木直人監修，青山謙二郎他編，ナカニシヤ出版，2014
- ◆ 「入門・医療倫理Ⅰ 改訂版」赤林朗編，勁草書房，2017

【参考書】

- ◆ 「医療倫理学のABC第3版」服部健司，伊東隆雄著，井部俊子監修，メヂカルフレンド社，2015
- ◆ 「Advance Care Planning のエビデンス」森雅紀，森田達也，医学書院，2020
- ◆ 厚生労働省ホームページ 医療事故調査制度について
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000061201.html>)

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
行動01	09月05日	(木)	1	医療倫理総論 1	種田 (教養教育)
行動02	09月19日	(木)	1	医療倫理総論 2	種田 (教養教育)
行動03	10月08日	(火)	2	医療倫理演習 1	種田 (教養教育) 堀 (国セ心臓血管外科) 山本 (緩和医療科)
行動04	10月08日	(火)	3	医療倫理演習 2	種田 (教養教育) 堀 (国セ心臓血管外科) 山本 (緩和医療科) 長谷川 (帯広協会病院)
行動05	10月24日	(木)	1	医療倫理総論 3	種田 (教養教育) 長谷川 (帯広協会病院)
行動06	10月30日	(水)	5	医療における行動科学Ⅱ	小林 (総セ神経精神科)
行動07	<u>12月05日</u>	(木)	2	医療安全Ⅱ：医療事故の定義、緊急処置、記録・報告方法と医療現場における記録の重要性和カルテ改ざんの違法性	滝沢 (総セ医療安全)
行動08	12月04日	(水)	5	生命倫理演習 1	種田 (教養教育) 齋木 (国セ総合診療内科)
行動09	12月04日	(水)	6	生命倫理演習 2	種田 (教養教育) 齋木 (国セ総合診療内科)
行動10	01月14日	(火)	1	行動科学と医療倫理の関わり	種田 (教養教育) 菅 (教養教育)

【ユニット】

行動科学と医療倫理

【ユニットディレクター】

菅 理江（教養教育）

【コンピテンス】

1. 社会人および医師としての基本姿勢
2. 基盤となる医学知識と問題対応能力
8. 医療の質と安全管理

【マイルストーン】

- 1-(1). 医療倫理に関する基本的知識を修得している。
- 1-(4). 医師が守るべき規範を説明できる。
- 2-(3). 医療倫理の重要性と基本的な考え方、医療安全、健康行動理論を概説できる。
- 8-(1). 医療安全とその管理体制について概説できる。

【評価方法】

- 1-(1). 筆記試験
- 1-(4). 筆記試験
- 2-(3). 筆記試験
- 8-(1). 筆記試験

【補習および再評価の方法】

- 1-(1). 課題提出または口頭試問
- 1-(4). 課題提出または口頭試問
- 2-(3). 課題提出または口頭試問
- 8-(1). 課題提出または口頭試問